

○新たな施策の要望又は提案を求めるもの（要望）

区分	☐ 新規 ☒ 再提案（H27・8・20 第137回総会；佐久市）		
種類	☐ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの ☒ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの ☐ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの ☐ その他（ ）	分野	☒ 総務文教 ☐ 社会環境 ☐ 経済 ☐ 建設
要望先	☒ 国 ☐ 県 ☐ その他	担当省庁 担当部局 名 称	防衛省
件名	19 CV-22 オスプレイの運用等に関する情報開示と安全性の確保について		
提案市	上田市、須坂市、小諸市、佐久市、東御市		
提案要旨	長野県危機管理部からの情報によると、米空軍が平成29年後半から横田飛行場に配備を予定する新型輸送機「CV-22 オスプレイ」が長野県の東北部を含む空域で訓練飛行を実施予定とされており、県内では17市町村がこの訓練空域に含まれるとされているが、これに関する具体的な情報開示や住民説明がなされていないことから、安全性の確保等も含め、国に適切な対応を強く要請する。		
提案理由	オスプレイの安全性の確認については、第131回長野県市長会総会（平成24年8月30日）において飯山市から提案がなされているところであり、また、第137回長野県市長会総会（平成27年8月20日）においても佐久市から米軍機等の飛行による『長野県内上空での「ごう音」への適切な対応について』との議題で国及び県への要望がなされており、この間、県においては国への要請等それぞれ対応いただいているところではあるが、今回これらに関連する新たな懸念材料が生まれたことから、改めて国を通じて在日米軍へ強く要請するものである。		
提案理由	主に米軍機によるものと思われる飛行訓練等により、佐久地方等でごう音問題が顕在化する中、新たな騒音問題の発生が懸念されるだけでなく、開発段階から事故が相次いだオスプレイに対しては住民の不安も依然として根強く、市民から心配の声が寄せられている。 一方、横田飛行場に配備が予定される米空軍の新型輸送機「CV-22 オスプレイ」は特殊作戦用であることから、主に輸送機として使用される普天間基地配備の「MV-22 オスプレイ」に比べ、夜間や低空飛行などより過酷な条件下での運用も想定され、その安全性が危惧されるところでもある。 そのような中、県は直ちに県内市町村からの意見・質問を集約し、北関東防衛局へ要請しているが、未だ回答は無い。 こうした住民の懸念や不安が払拭されるような説明やオスプレイを含む米軍機等の飛行に関する情報開示、安全の確保、ごう音対策等、国に適切な対応を強く求めるとともに、県が行った要請等に対する速やかな回答を求めたい。		
法令関係			